

「リグニンネットワーク」設立総会を開催 —改質リグニン実用化に向けた活動を本格化—

ポイント

- ・日本の森林由来の新素材「改質リグニン」の産業化を目指したコンソーシアム「リグニンネットワーク」の設立総会を開催します。
- ・改質リグニンに関するネットワークを構築し、構成会員間の連携と協力を推進します。

概 要

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所は、「地域リグニン資源開発ネットワーク（略称リグニンネットワーク）」を設立するにあたり、設立総会を下記の通り開催します。

1. 日時：平成31年4月16日（火曜日）13：30～16：00
2. 場所：イイノホール&カンファレンスセンター 4階ルームB（千代田区内幸町2-1-1）
3. 参加条件：会員および報道機関関係者、事前登録制

背 景

森林総合研究所は日本固有の樹種である「スギ」由来の新素材「改質リグニン」を開発しました。改質リグニンは、スギに約3割含まれるリグニンという成分を原料に製造され、熱に強い、加工しやすい、環境に優しいという性質を持ち、様々な工業製品の材料として利用可能な新素材です。また、改質リグニンの製造は、中山間地域のスギ資源を大量に利用するので、地域を活性化する新産業として期待されています。

改質リグニンの研究開発は、内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の中で、森林総合研究所が統括する研究コンソーシアム「SIPリグニン*」により進められました。その中で、改質リグニンの製造システムを構築するとともに、改質リグニンを利用した自動車用部材や電子デバイスなど、様々な製品が開発されました。SIPリグニンの研究は平成30年度末で5年の活動期間を終えます。今後、改質リグニンの産業を創りだすには、SIPリグニンの研究活動を受け継ぐと共に、川上の林業から川下の工業に至る大きな連携が必要となっています。そこで、森林総合研究所は、新たなコンソーシアム「地域リグニン資源開発ネットワーク（略称リグニンネットワーク）」を設立し、その設立総会を開催することとします。改質リグニンの産業を現実のものとするため、リグニンネットワークの構築を進めます。

*SIPリグニンは、内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「次世代農林水産業創造技術」の「地域のリグニン資源が先導するバイオマス利用システムの技術革新」を担当する研究コンソーシアムです（平成26～30年度）【代表者 山田 竜彦(森林総合研究所)】。

内 容

・あいさつ、趣旨説明など

・講演 「木材の新たなマテリアル利用促進に向けて」

林野庁 研究指導課 課長 森谷 克彦

※報道機関の方は、ここまで御参加頂けます。以降は会員のみ参加となります。

・総会 (各種議事)

・技術講演 改質リグニンのポテンシャル

(国研) 森林研究・整備機構森林総合研究所 新素材研究拠点長
リグニンネットワーク代表 山田竜彦

・技術講演 改質リグニンを用いた製品開発と市場開拓

(国研) 産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門
首席研究員 蛭名武雄

・情報交換会

※改質リグニンを用いて開発した製品の一部は、農林水産省 消費者の部屋【特別展示】『森の新素材「改質リグニン」の開く未来』 (4月15日午後から19日午前まで)でもご覧いただけます。

お問い合わせ先

【リグニンネットワークについて】

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 新素材研究拠点内

リグニンネットワーク事務局 E-mail: lignin-net@ml.affrc.go.jp

<http://lignin.ffpri.affrc.go.jp/project/network.html>

(リグニンネットワークへのご入会は上記メールアドレスへお問い合わせください)

【取材に関する窓口】

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 企画部 広報普及科

〒305-8687 茨城県つくば市松の里1

TEL: 029-829-8372 FAX: 029-873-0844 E-mail: kouho@ffpri.affrc.go.jp

(報道関係者で参加を希望される方は上記メールアドレスへご連絡ください)

本資料は、林政記者クラブ、農林記者会、農政クラブ、筑波研究学園都市記者会に配付しています。